

認知症に関する活動計画（概要）

【渉外部】

- 地域支援事業における対県、対市町村・対他団体（主にリハ専門職協会を想定）との交渉・連絡および人材の選出と派遣・推薦（下記に認知症関連を抜粋）
- 「認知症初期集中支援チームの参加者」「認知症初期集中支援チームの会議傍聴席」

【事業部】

- 認知症カフェの運営

【教育部】

- 地域包括ケアに資する人材育成研修会（認知症の人の生活支援含む）の開催（年度内1回）

【部局連携室】

- 地域ケア会議・介護予防日常生活支援総合事業・認知症関連事業の参画のための士会組織における連携・調整・運営など

認知症初期集中支援事業への参画

【仙台市】

- 2018年から参画継続中。チームは診療所委託と、他5チームは市直営。当士会より4名のOTが配属。
- R5年度に引き続き、各区が主導的に活動を運営し「可能な限り在宅生活を継続できるような体制の構築」に向けた取り組みを展開中。
- チーム員の活動は、主に区内の全地域包括支援センター（以下、センター）も交えた認知症初期集中支援チーム員会議と対象者への訪問。
- センターからの依頼で、地域住民を対象とした認知症講座で講師を担う機会も増加中。

【大河原町】

- センターの依頼を受け、対象者への同行訪問を実施。
- 基本的にセンター職員と2名体制で自宅訪問→各アセスメント→情報集約のうえチーム員会議を実施
- チーム員会議での認知症サポート医からの助言をもとに介入。後日、センター主催の会議にて事例紹介と訪問後の状態や取り組みを報告。

認知症カフェ事業への参画

【仙台市】

- 2016年1月より、みやぎ生協太子堂店集会室にて毎月1回開催している認知症カフェに参画中。
- 2019年度より、宮城県作業療法士会事業部と仙台市薬剤師会共催で運営。
- 2024年度より、仙台市認知症初期集中支援チーム看護師も活動メンバーに加わり、認知症の理解や地域住民同士の交流促進に向けた取り組みを展開。
- 参加者は、近隣住民の方々や町内会長さんなど毎月10名前後が参加。
- 住民同士のコミュニケーション促進に重きを置きながら毎月テーマを決めて実施（手作業・ミニ講和・軽体操・フラダンス・体力測定・ゲームなどを実施）。
- 近隣の地域包括支援センターにも認知症カフェのパフレット設置・地域資源に関する講話の協力・カフェ参加者に認知症や家族介護で気になる方がいた時の相談・協力体制あり。
- 毎年、仙台市認知症カフェ支援事業の一環として開催されている「認知症カフェ企画・運営者会議（年間3回予定）」にR6年度も参加予定。
- 市内の認知症カフェ運営者と認知症カフェの現状についての情報交換や、今後継続・普及させていくための方策についての意見交換を実施中。
- 毎年開催されている「宮城県長寿社会政策課・仙台市地域包括ケア推進課・認知症介護研究研修仙台センター主催」の「認知症カフェネットワークミーティング」や「認知症カフェセミナー」に向けた企画・運営の場に参加。

【大河原町】

（月曜：うめカフェ／木曜：うめカフェ／土曜うめカフェ）

- 大河原町地域包括支援センター（以下、センター）運営の認知症カフェに週3回参画。
- センターの専門職の他、栄養士、薬剤師、福祉ネイリスト、はつらつメイト（介護予防サポーター）と共同で活動。
- 手工芸、講和、軽体操、音楽会、レクリエーション、年1回のバス旅行など、参加者の要望を取り入れながら実施。
- センターからの依頼や参加者からの希望でMMSE等の評価を実施。場合によっては関係機関への繋ぎ・連携や初期集中支援チームに繋げる等の対応あり。
- 参加者は認知症有無に関わらず5～20名程度の参加あり。最近ではご家族の参加や、地域の子供たち等の世代を超えての交流も増加中。
- Instagram（#うめカフェ）で活動の様子を発信（地域の方や遠方のご家族と繋がるツール）。

その他、士会としての認知症関連のトピックス

【多賀城市】

- 市からの依頼があり、小・中学校数カ所に対する認知症講座の講師として参加予定。